

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2011年7～9月期)

## 第62回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成23年1月～3月との比較）
  - （2）前年同期比（平成22年4月～6月との比較）
  - （3）来期見通し（平成23年7月～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	164社
回答率	32.8%
(業種別)	
製造業	59社
建設業	30社
卸売業	16社
小売業	31社
サービス業	28社
合計	164社

## (2) 実施時期

平成23年7～9月期

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。



### 3. 概況

#### 「震災からの復興による需要と」

##### (1) 今期の特徴

一部の企業では、震災からの復興により、消費行動ならびに受注の増加を挙げる声が多くなっている。しかし、依然として景気の不透明な状態が続き、企業の置かれる立場は厳しい状態が続く。

本県においては、他地域からの新規参入業者が入ってきており、受注を取るための価格競争が一層激しいものとなっていており、収益を上げるには難しい環境で影響を行わざるを得ない。

##### (2) 来期の見通し

引き続き、現在の受注の見通しが立たない状況が続く。また、仕入価格の上昇が今後も予想され、それに伴う価格への転嫁ができず薄利経営を余儀なくされる。

季節的要因により、売上ならびに収益等の動きに関して、企業間で 2 極化がより一層大きくなることが予想される。

##### (3) 経営上の問題点

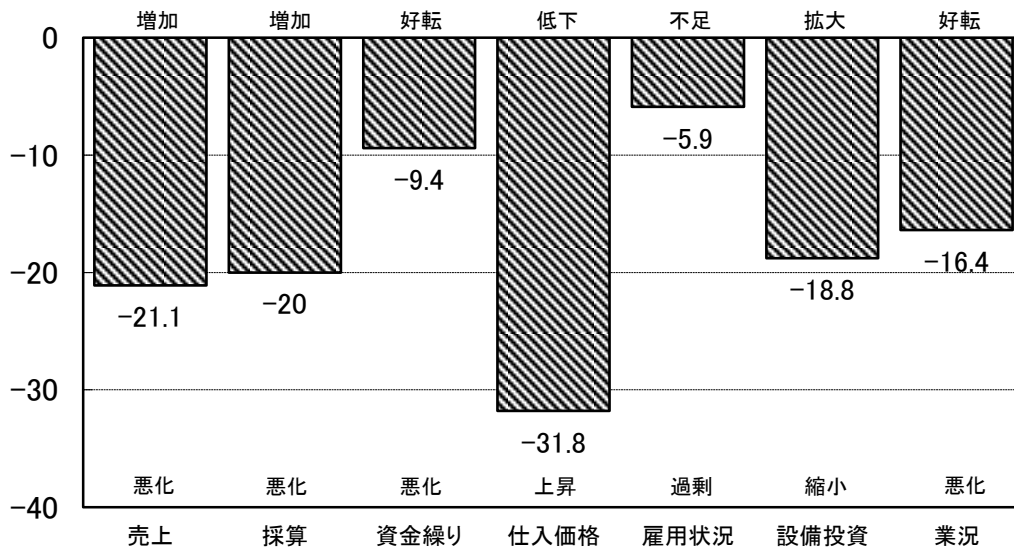
今回の上位順位は、1 位に「需要の停滞」、2 位に「原材料（仕入単価）価格の上昇」が挙がり、自然災害による影響を露呈した形となった。3 位は「製品（販売）単価の低下・上昇難」が続く結果となった。

##### (4) 今後の対応策

今回の上位順位は、1 位に「その他の合理化を実施したい」、2 位に「新規市場を開拓したい」となった。3 位は「人件費を削減したい」が挙げられ、雇用状況で不足を挙げた小売業を除き、多くの企業において人件費削減による支出を抑えるところまで厳しい状況となっている。

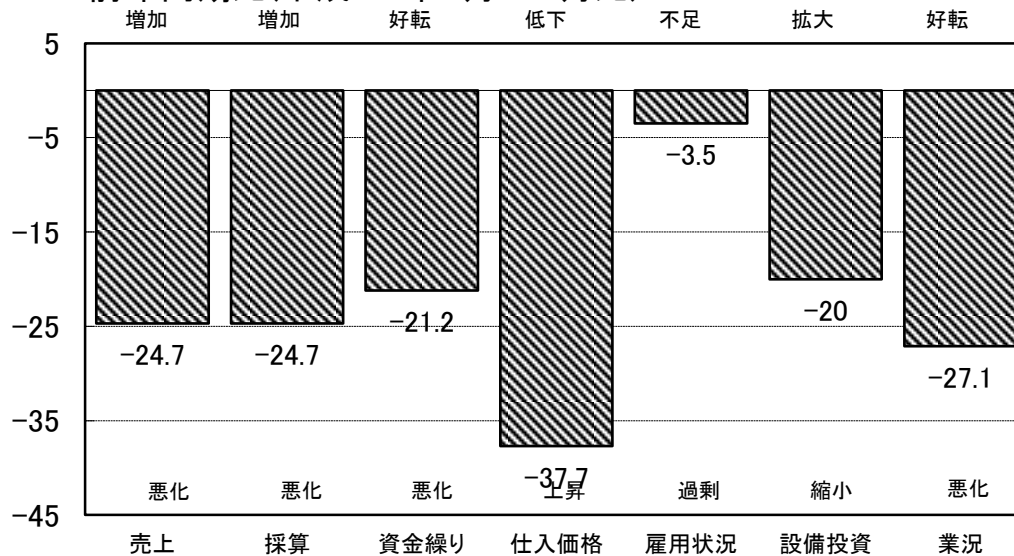
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成23年4月～6月比)



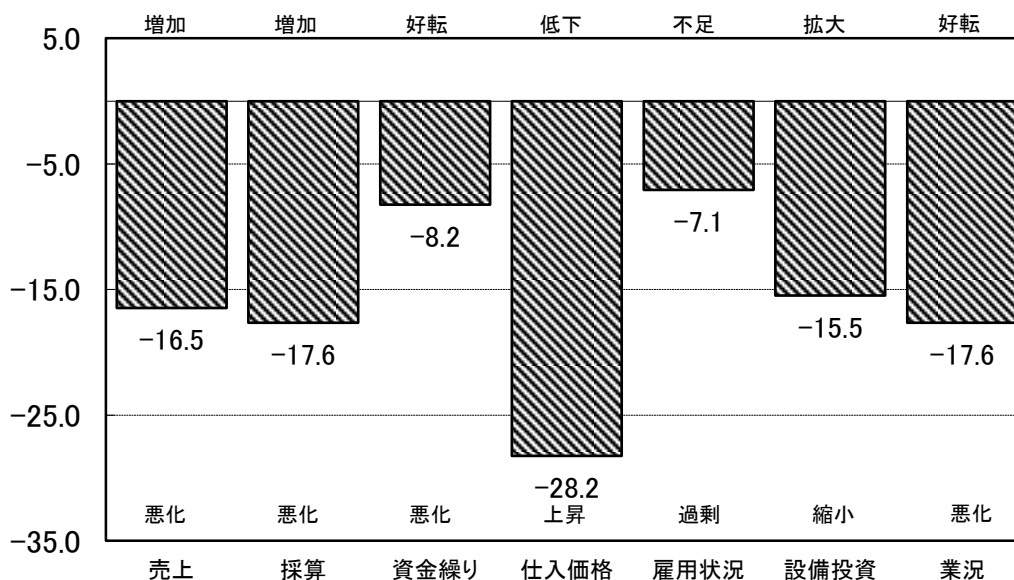
前期比を見ると、仕入価格の上昇が大きくマイナスを示した。また、売上DIについてもマイナスを示し、全産業を通し、依然として、厳しい状況にある。一部で、受注が増えてきているが、続く不況により、消費行動は鈍い状態で

前年同期比(平成23年7月～9月比)



前年同月比を見ると、前期比同様に仕入高DIの値が高いマイナスを示した。全産業を通し、仕入価格の上昇が続いており、受注の少ない状況と価格引き上げによる利益の確保が難しい。また、震災による影響も色濃く残っており、

来期見通し(平成23年10月～12月見通し)

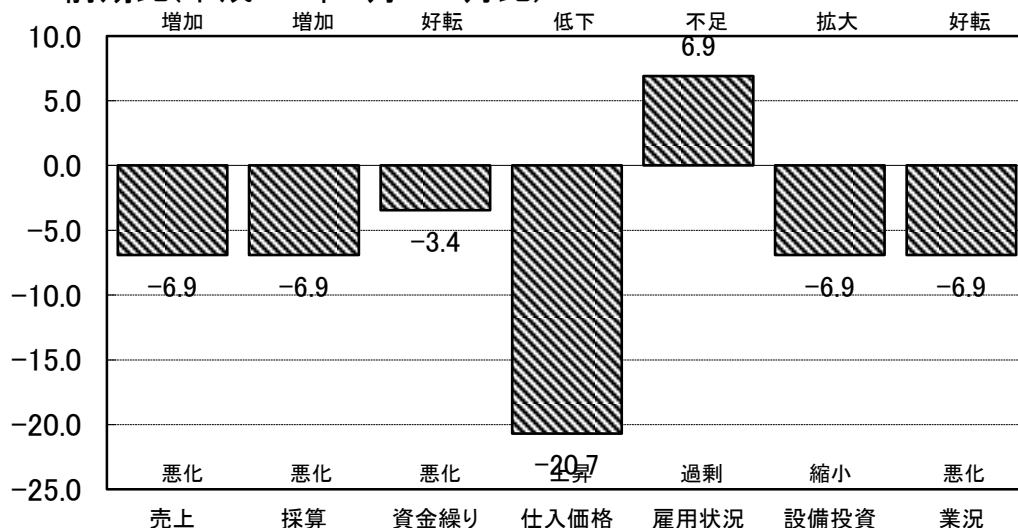


来期見通しでは、やはり仕入価格DIが大きなマイナスを示す。背景として、原油の高騰や消費行動の鈍化が原因となる。一方、季節的な要因がきっかけとなり、今後需要の見込みが立ち、売上の確保が可能となる企業が出てきて

## 5. 業種別の景気動向

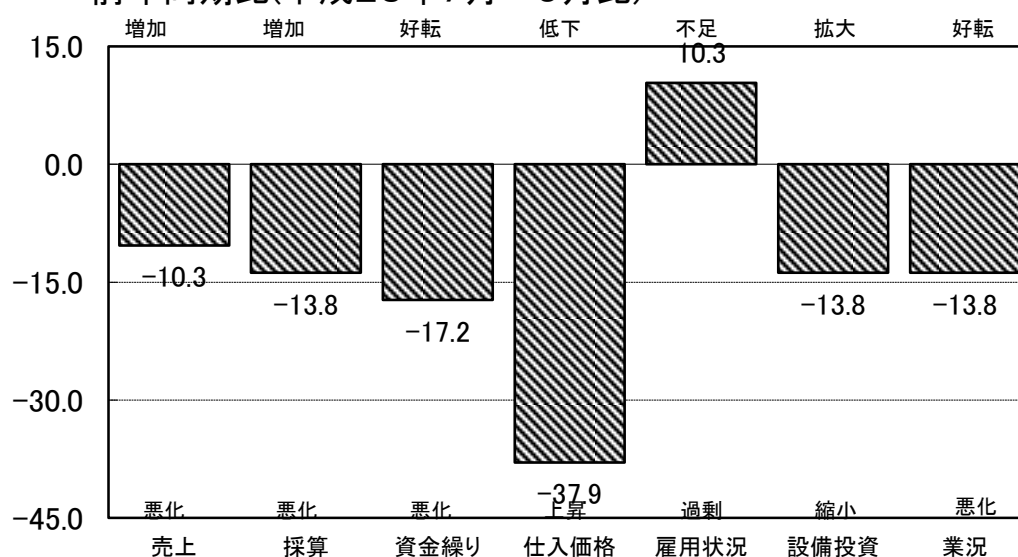
### (1) 製造業

前期比(平成23年4月～6月比)



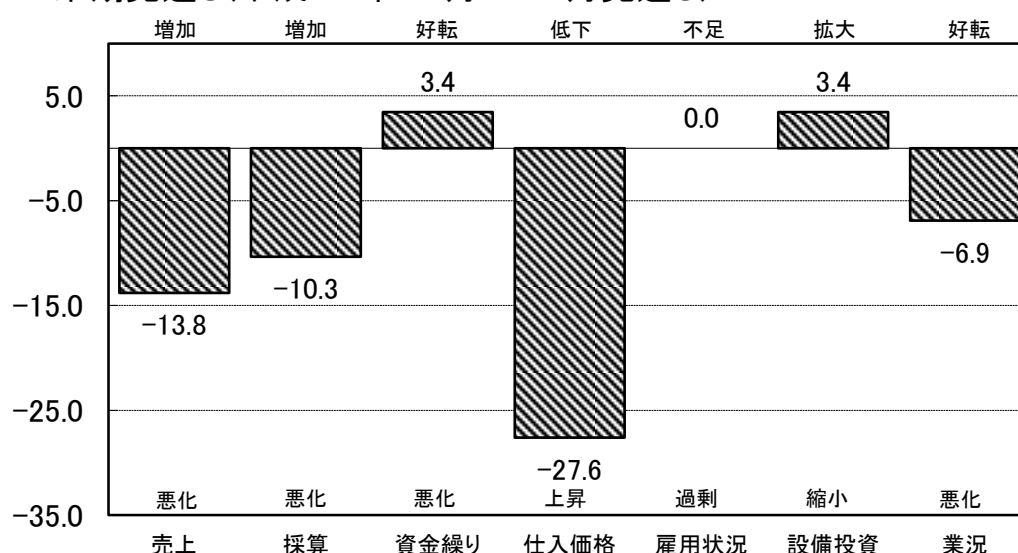
前期比では、仕入価格D Iのマイナス幅が大きい。理由として、原油高の高騰や東日本大震災の影響によるものである。しかし、震災からの復興が始まり、需要が伸び、営業再開による好転となる企業が出て来ている。

前年同期比(平成23年7月～9月比)



前年同期比を見ると、雇用状況が大きくプラスに推移した。景気動向としては依然として、厳しい状況であるが雇用に関しては人材を必要とされる状況の様子である。また、タイの洪水による需要の伸びを挙げる

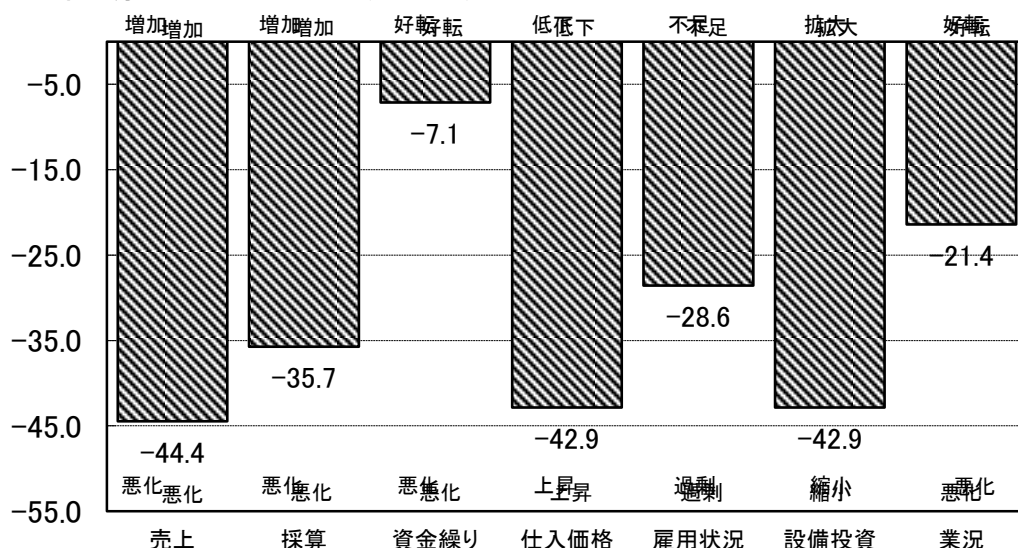
来期見通し(平成23年10月～12月見通し)



来期の見通しとしては、こちらも仕入価格の上昇が大きな不安材料として数値として表れた。多くの企業で先行きの見えない受注状況を見せており、公共工事等の大型受注が見込めない。冬場に伴う、閑散期に不安の声を挙げる企業

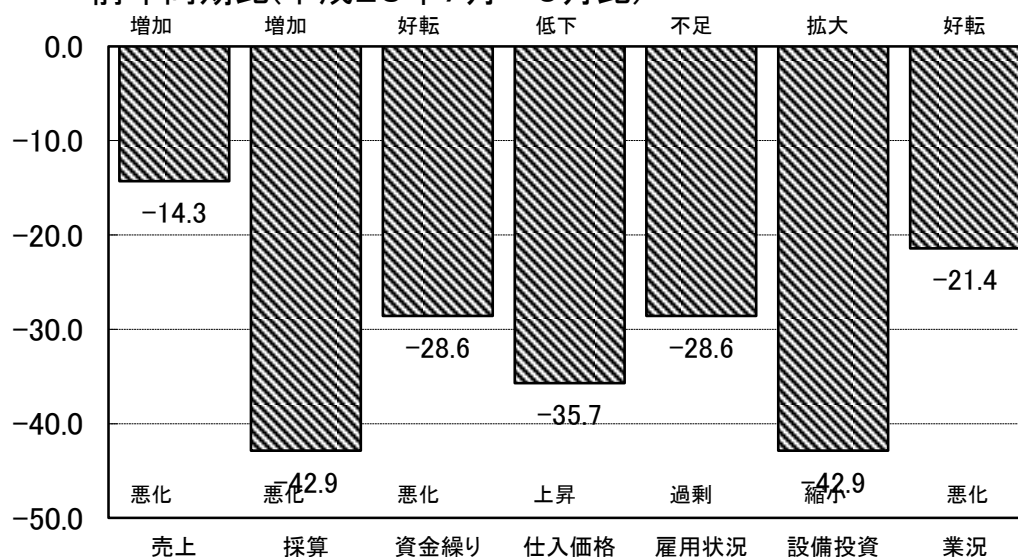
## (2) 建設業

前期比(平成23年4月～6月比)



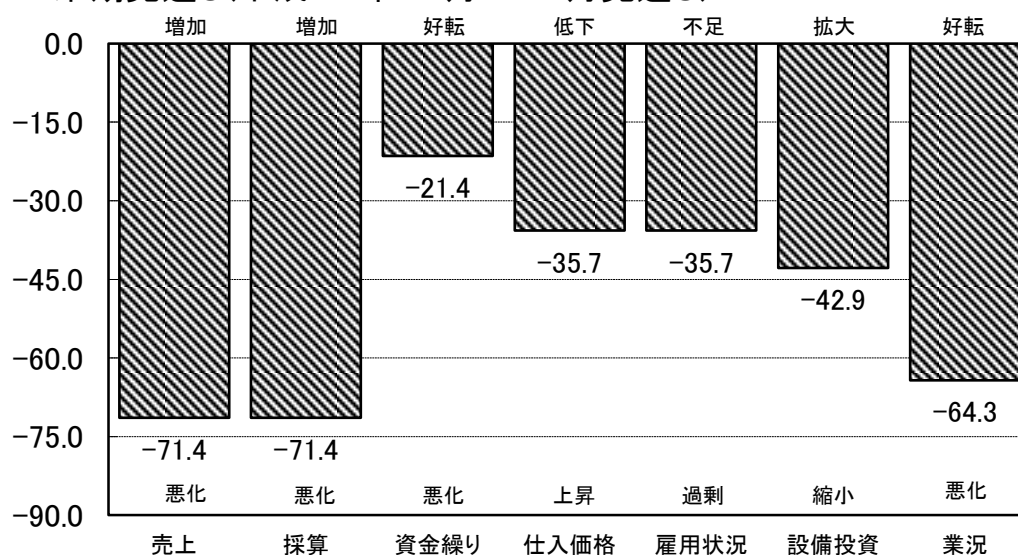
前期比では、売上DIと仕入価格DI、設備投資DIで△40ポイントを超える落ち込みを示す。市外業者の参入による競争の激化や消費者の消費行動の鈍化により、受注が見込めない状況にあるためである。受注工事も少なく、消

前年同期比(平成23年7月～9月比)



前年同期比では、採算DIの悪化、設備投資DIの悪化が突出した。業界全体が下落しており、入札も競争が多くあり厳しい。公共工事など大型需要が見送られ、受注工事があったとしても低価格の工事となり、採算の悪化を

来期見通し(平成23年10月～12月見通し)

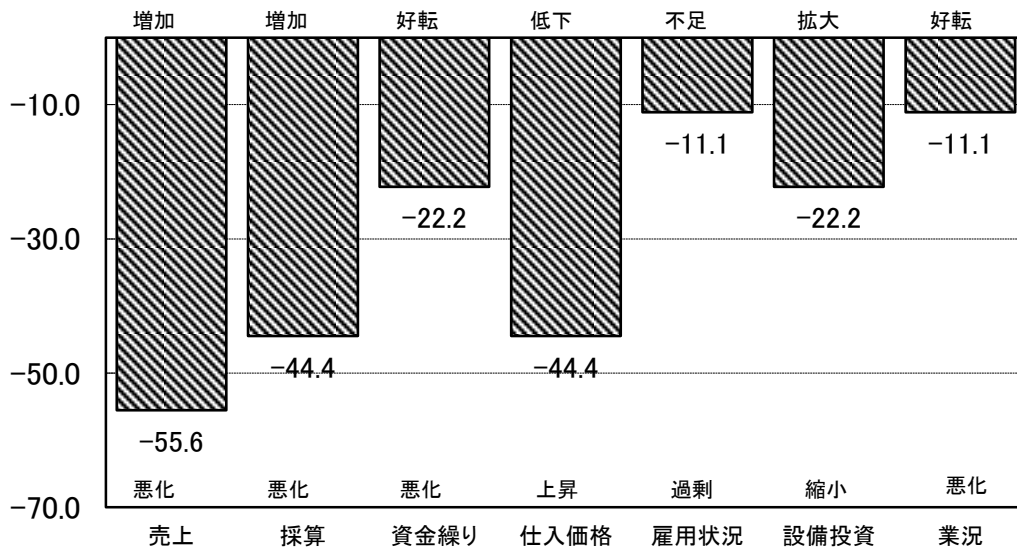


来期見通しでは、これまで以上により一層厳しい状況が予想される。売上DI、業況DIが大きくマイナスを示し、震災以降の需要を上げる企業があるものの、業界全体の冷え込みはさらに大きくなり、不透明な経



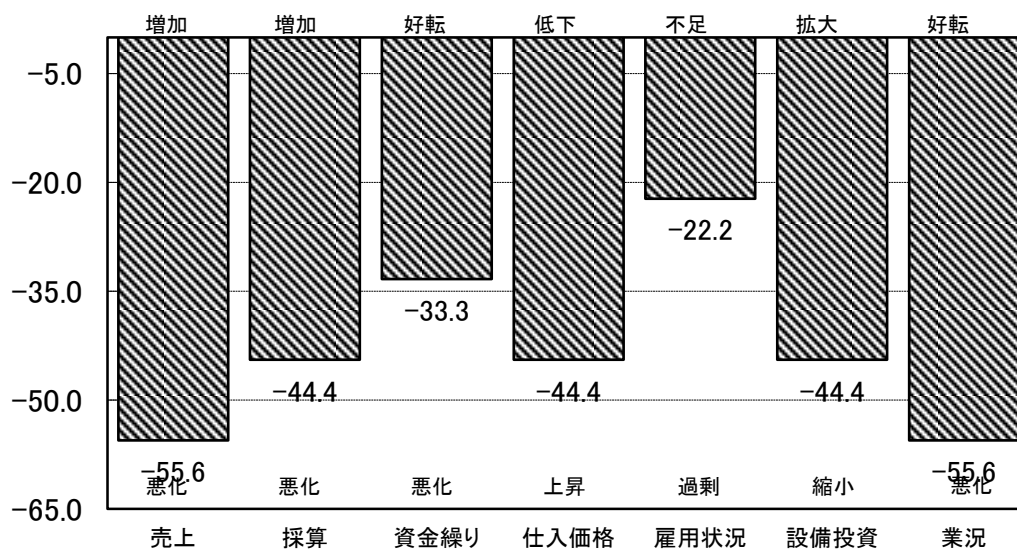
### (3) 卸売業

前期比(平成23年4月～6月比)



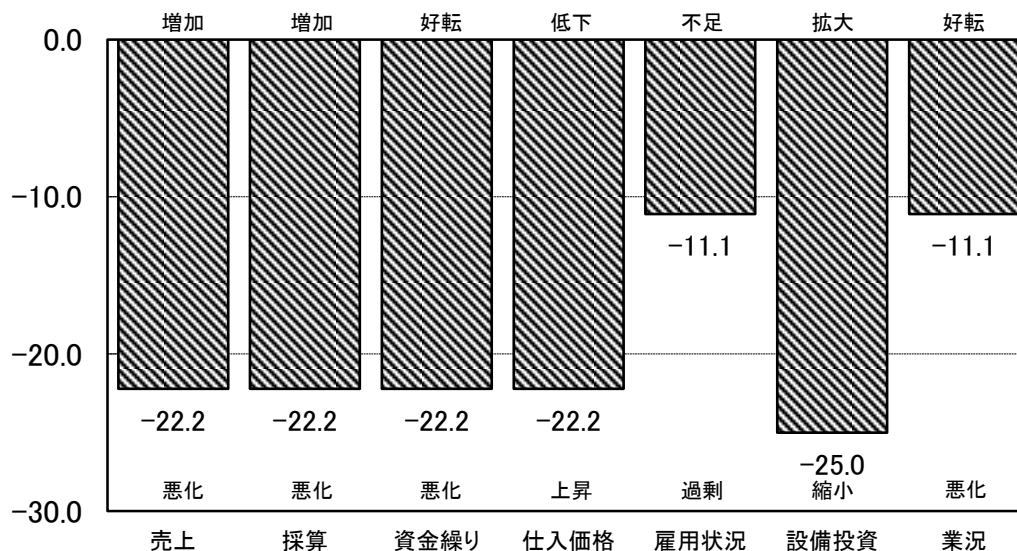
前期比を見ると、売上DIが大きなマイナスを示した。官公庁、民間ともに需要が減少しており、売上の見込めない状況となったためである。不景気による受注減少に加え、価格競争が激しくなり、売上悪化を

前年同期比(平成23年7月～9月比)



前年同期比では、売上DIと業況の悪化が際立つ形を示した。それに応じて、採算も悪化を示す形となった。前年と比較しても長引く不景気が需要の更なる低迷となり、受注を取るための価格競争により、企業が

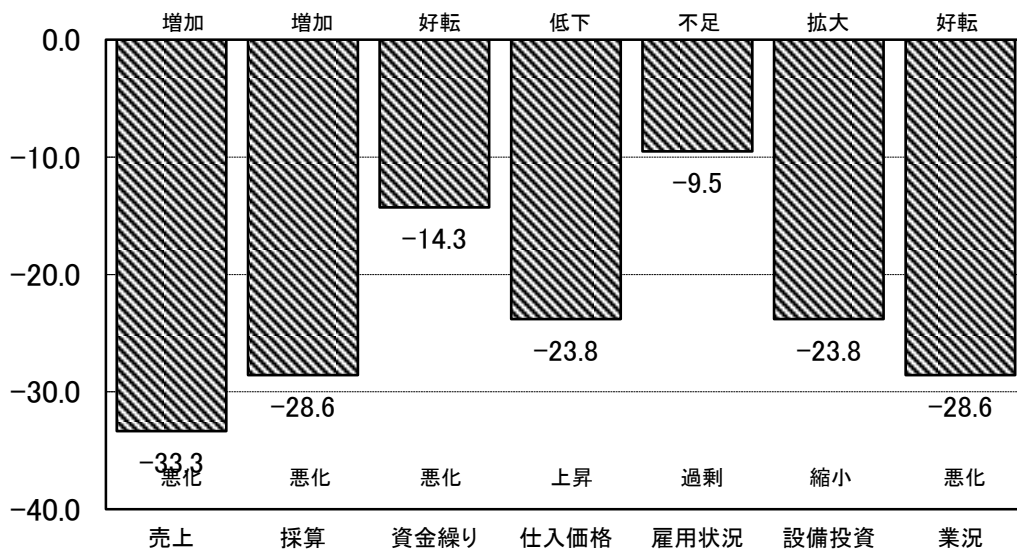
来期見通し(平成23年10月～12月見通し)



来期見通しは、全体として、同様の悪化を示した。今後も受注減少と低価格競争により企業が置かれる立場は厳しいことが予想される。新商品の開発を行い、新たな収益確保を考える企業も出てきており、低迷から

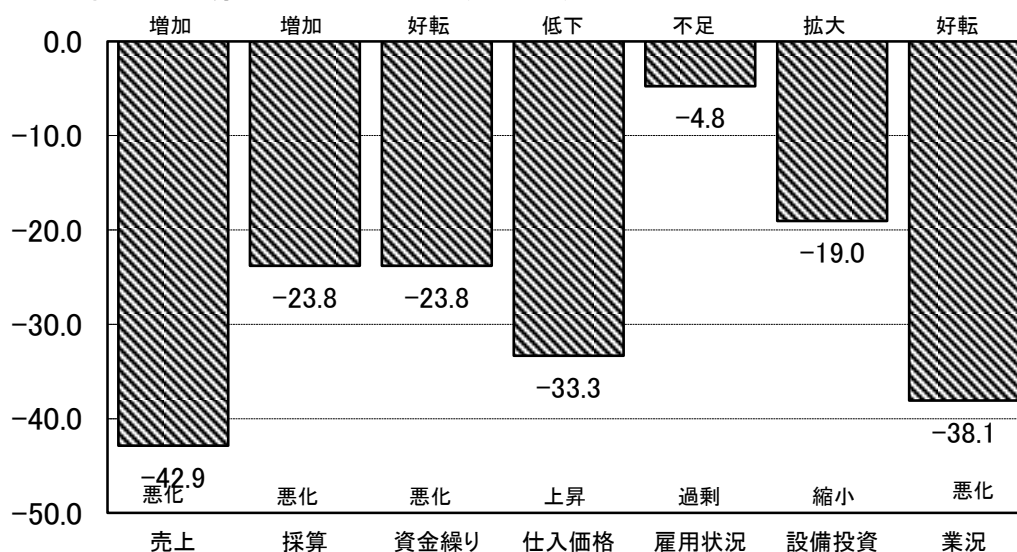
## (4) 小売業

前期比(平成23年4月～6月比)



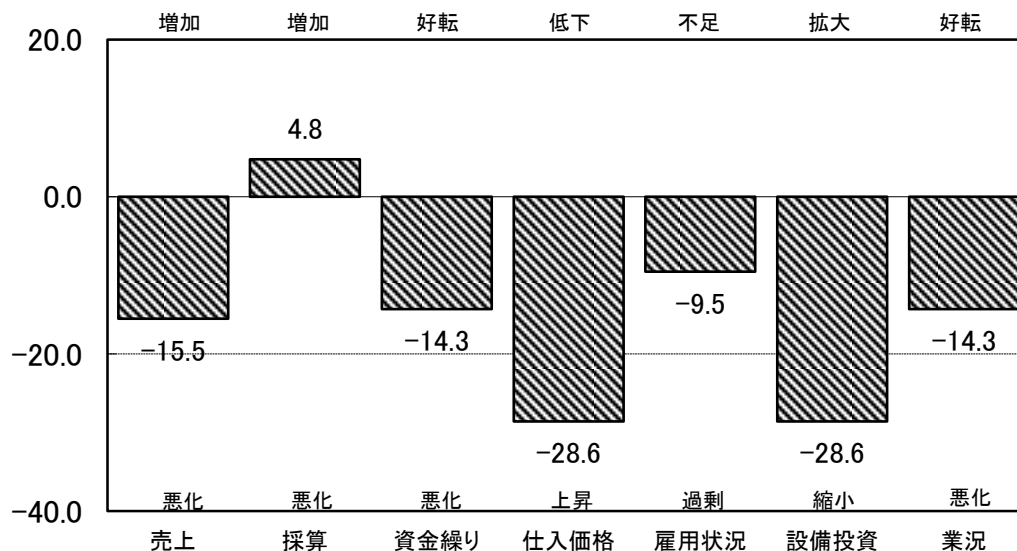
前期比を見ると、売上D Iの悪化が目立つ。また、業況の悪化も大きい。前回調査時では△40ポイントを超えた仕入価格はわずかの回復を示した。一部では需要増加を挙げる企業があるが、依然として、売上確保の難しい状況は続いている様子である。

前年同期比(平成23年7月～9月比)



前年同期比では、売上D I、業況D Iの悪化が大きい。企業の中には店舗改装による需要増加を挙げ好転となっているが、多くの企業では引き続き需要低迷が続く。また、仕入価格上昇に伴う、価格転嫁ができ

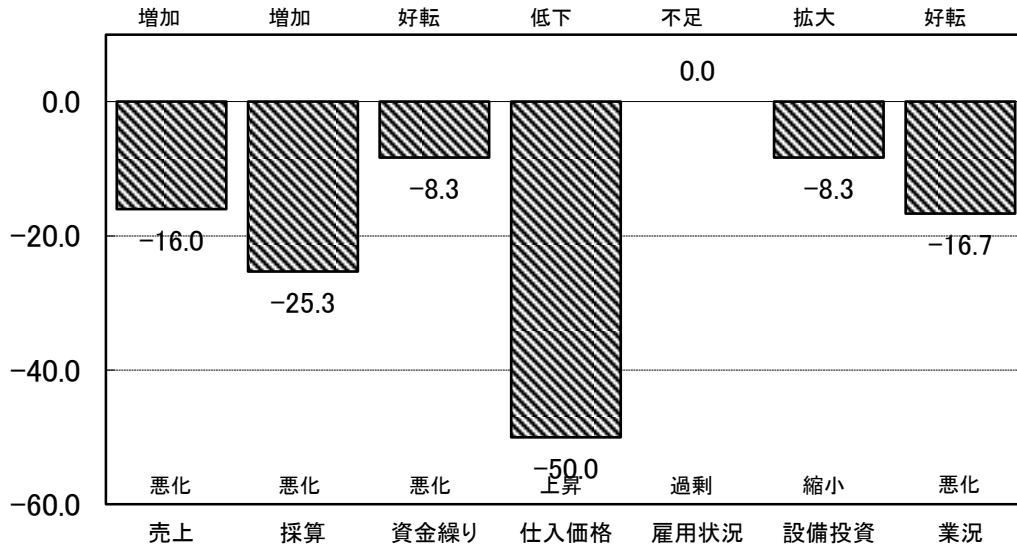
来期見通し(平成23年10月～12月見通し)



来期見通しでは、売上D Iが大きな回復を示した。季節的変動による受注増加を挙げる企業があり、見通しとしては一部明るい兆しが見える。しかし、依然として、景気の不透明な状態により、受注が少なく、個人

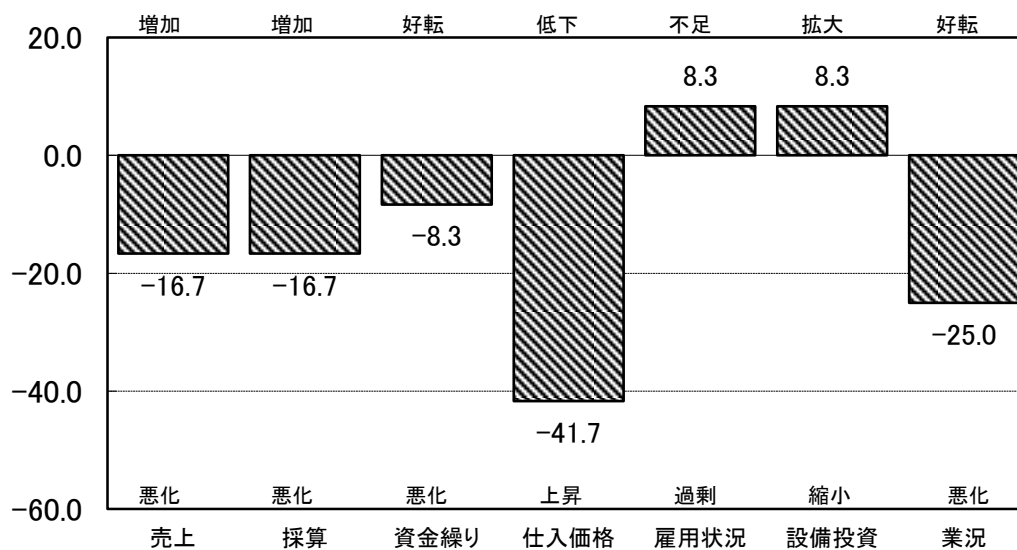
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成23年4月～6月比)



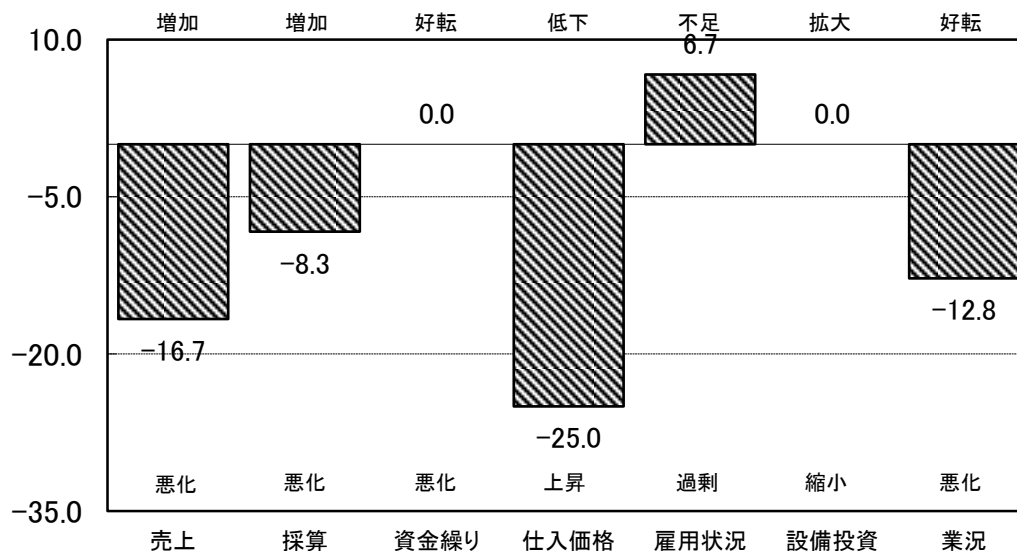
前期比を見ると、前回調査時とマイナスを示した売上DI、採算DIでわずかな回復した。背景として、東日本大震災発生以降、ようやく消費行動が増えてきており、消費の増加が理由として挙げられる。しかし、観光では県外

前年同期比(平成23年7月～9月比)



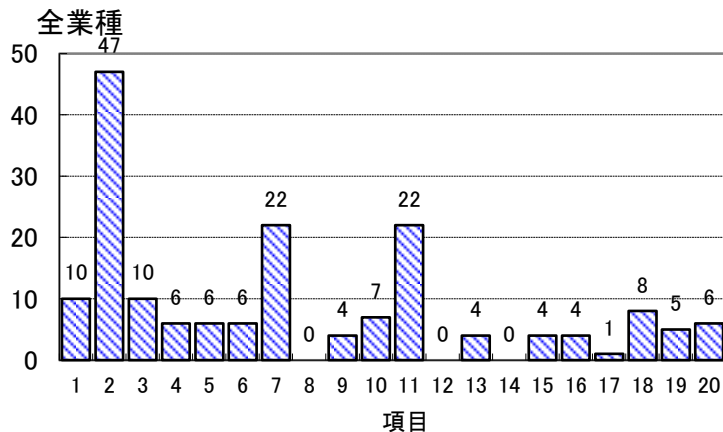
前年同期比では、前回調査時と比べると業況の悪化が△10ポイント大きくなった。燃料費の高騰や仕入れ価格の売上への転嫁が難しく、厳しい状況となっている。昨年の口蹄疫時期との対比で前年同期よりも悪くないと挙げる企業

来期見通し(平成23年10月～12月見通し)



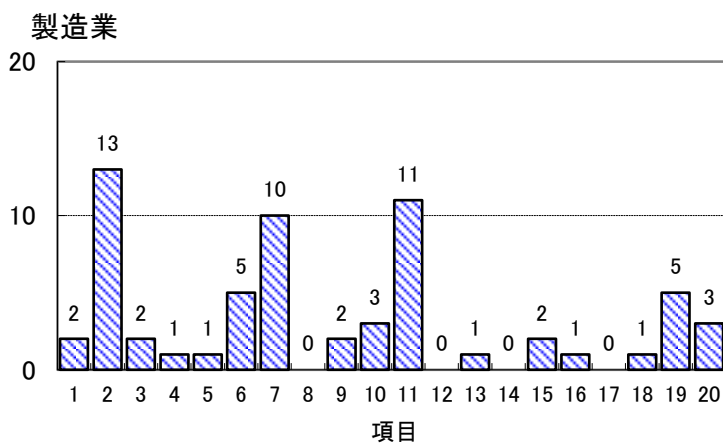
来期見通しでは、仕入価格DIの上昇が際立つ。仕入価格の上昇は前回調査時より続いており、引き続き不安材料として挙げられている。今後、閑散期となる企業が多く、来期に関しては厳しい

## 6. 経営上の問題点



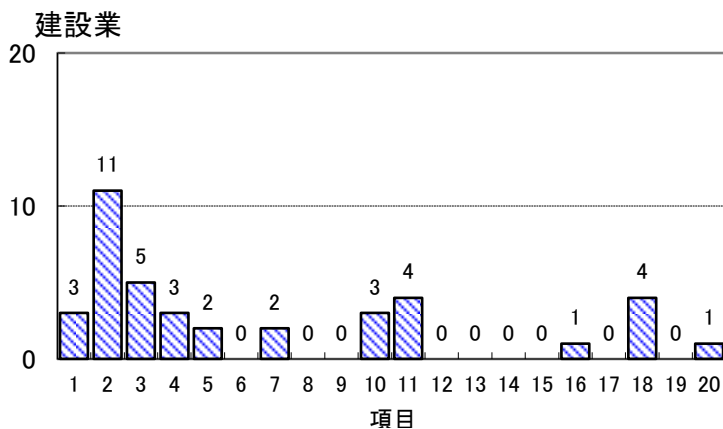
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 円高による海外製品との競争激化

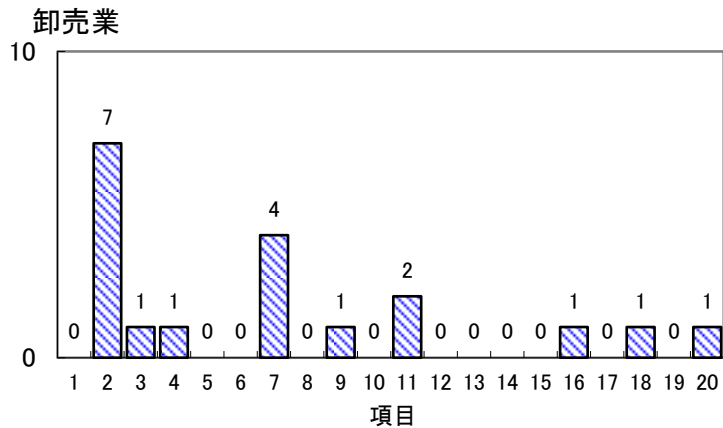


順位

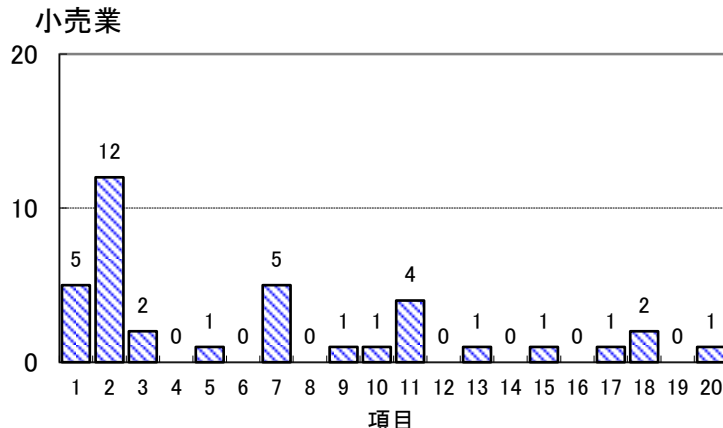
- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

### 項目一覧

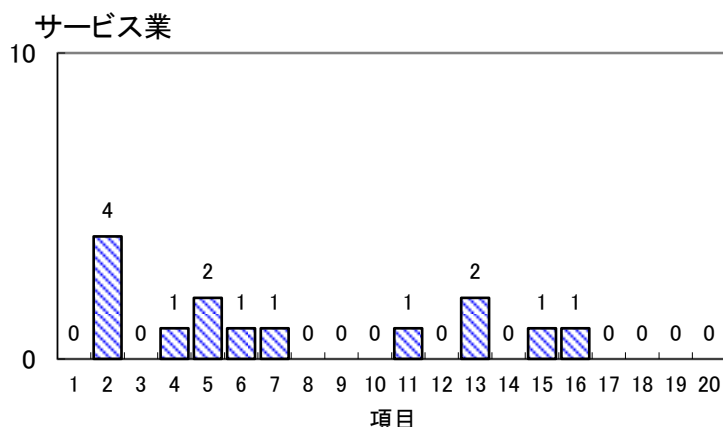
- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業員)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |



- 順位
- 1位 需要の停滞
  - 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
  - 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
  - 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
  - 5位 新規参入業者の増加



- 順位
- 1位 需要の停滞
  - 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
  - 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
  - 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
  - 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

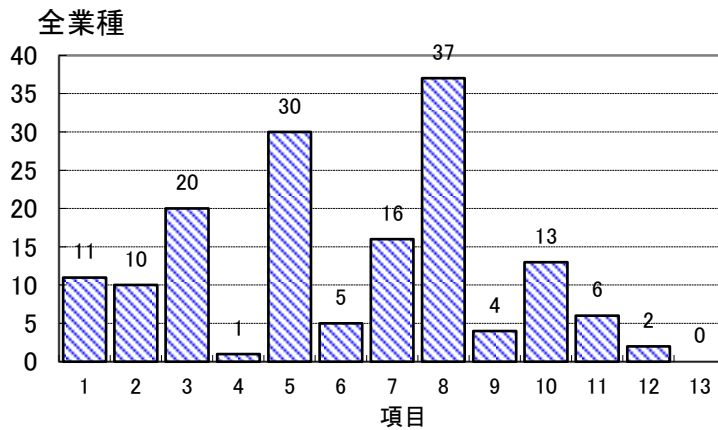


- 順位
- 1位 需要の停滞
  - 2位 生産設備の不足・老朽化
  - 3位 熟練技術者(従業者)の不足
  - 4位 新規参入業者の増加
  - 5位 製品ニーズの変化

項目一覧

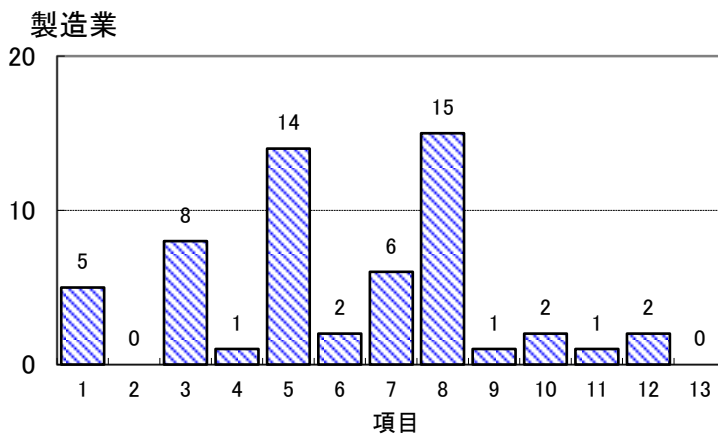
- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策



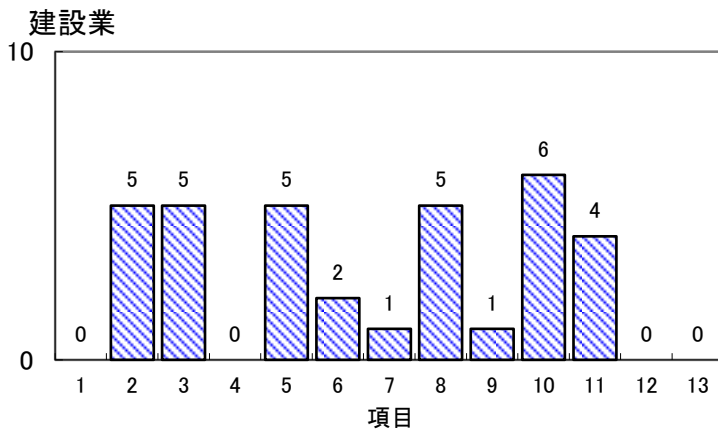
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい



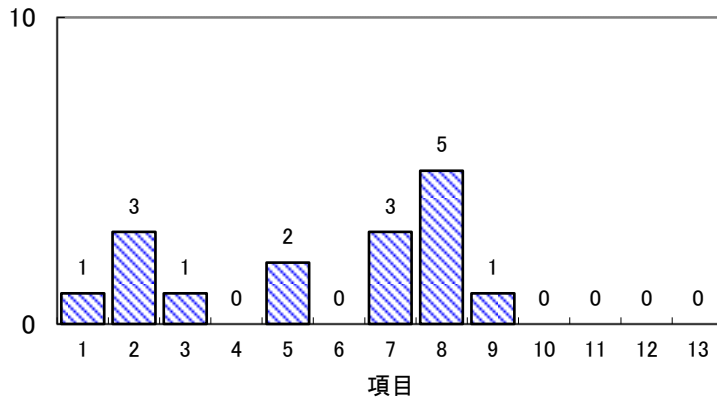
順位

- 1位 経営の多角化を行いたい
- 2位 雇用調整を行いたい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新規市場を開拓したい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             |                      |

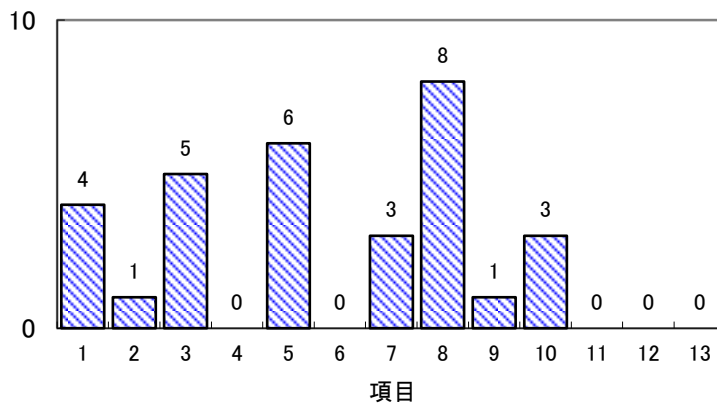
### 卸売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 雇用調整を行いたい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 その他の合理化を実施したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

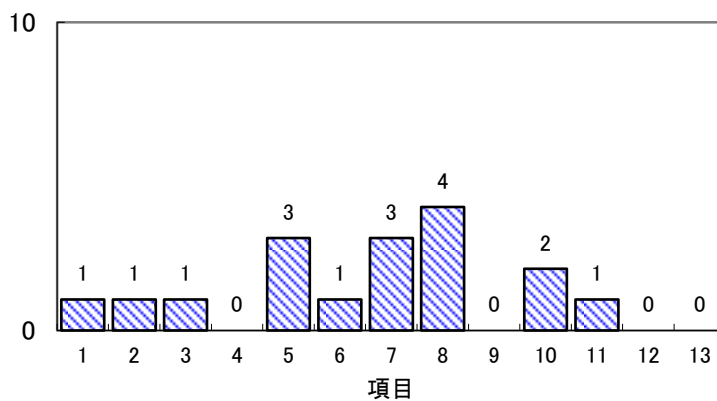
### 小売業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

### サービス業



#### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	コンクリート二次製品	宮崎	役所が業者にコンクリートの製品を率先して使うようにして欲しい
製造業	電子電気機械部品製造	宮崎	法人税の見直し
製造業	IC生産(組立テスト検査)	宮崎	円高は中国、韓国勢に太刀打ちできない。東日本大震災やタイ洪水では、BCP上、日本メーカーのサプライチェーンが洪水被害から不信を買ひ、日本離れが非常に怖い。日本の製造機の危機が進行していると思う。
建設業	建築設計監理	宮崎	官庁の設計量算定について、国交省告示15号による業務報酬基準が施工され、地方公共団体や建築事務所協会等に活用促進が図られているが、県下の公共団体においては、普及や活用が進んでおらず、見積り額の上下の差が大きく納得できない入札が多いようである。公共施設の設計額は告示第15号による報酬基準によって、発注していただくよう官庁に望んでいる。
建設業	建築工事業	宮崎	長期間にわたって公共事業が削減されたことから、特に雇用機会に恵まれない地域住民を雇用し、技術と経営の向上に努めてきた中小企業者は危機的な状況に追い込まれている。国、地方自治体の財政事業が厳しい状況にあることは理解できるが、国庫補助事業のみならず地方事業の推進が損なわれないよう地方自治体の財源確保と中小建設業者向けは工事量の確保を図っていただきたい。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	中小企業が簡単に申請できる補助金制度の拡充をお願いしたい。
建設業	土木工事業	日向	各資材組合のカルテル等を指導していただきたい。
建設業	建設業	日向	日向の事業物件に対し市外からの参入があり、価格競争があり苦労しています。最低価格の見通し等も必要ではないでしょうか？自社等の様々な事業の声が届くのでしょうか？
建設業	鉄骨建築業	高鍋	県内による生コンクリートの組合単価の値上げ、組合で分けてる地区別単価、他の地区のものが生コンを注文すると上乘せになり建設物価元より著しく高く生コン協会は競争原理に反している
卸売業	建築資材販売	日向	私たちには全くの予想もできません。
卸売業	焼酎製造業	小林	大型減税
卸売業	魚介類販売	小林	市外業者の市内進出の時は地元業者の商品などの納入を進出企業にお願いし市内業者の活性化を図ってほしいと思います。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	日銀は金利ゼロ政策を取っているが、銀行向けのことであり、我々小企業に対しては、手数料くらいでお金を回して欲しい。どこに行っているのか無金利の金は経済に詳しい代議士が多数を占めて欲しい。
小売業	総合小売業	宮崎	中世方式でない対策を「みやざき元気券」や「プレミアムお買い物券」の発行等、消費に結びつく対策
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	Doまんなかモールの駐車場利用で助かっている。(当店専用の駐車場がないため)
小売業	時計・宝石小売業	日向	時計技術者の養成を行いたい。養成費の補助を要請したい。
小売業	食料品小売業	高鍋	都会もそうだろうけど地方は一段ときびしいものを感じる。増税もある程度は仕方ないと思うが景気の悪化をもたらすのではと懸念する。地方にやさしい景気対策があればよいのだが。
サービス業	一般旅客自動車運事業	宮崎	宮崎県は、前年度に発生した口蹄疫の流行や新燃岳噴火による被害からの回復途上である。行政として、観光客の誘客に対して、更なる努力をお願いしたい。
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	民主党政権の非力による経済停滞は目に見えて明らかである。自民党から少々我慢しても新政党に委ねてみたが、これには国民の責任もある。領土問題等も含め民主政権を自民生計に戻すときではないか。このままでは日本が沈んでしまう。